

命の経験の第四段階へと入り、  
完全に成長した人に到達して神の定められた御旨を完成する

(土曜日——午前の第二の部)

メッセージ 8

完全に成長した人に到達する (2)

すべての事でキリストの中へと成長し込み、  
イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学び、思いの霊の中で新しくされる

聖書：エペソ 4:13-16, 20-24

- I. わたしたちは完全に成長した人に到達して神の定められた御旨を完成するために、すべての事でキリストの中へと成長し込む必要があります——エペソ 4:15-16, 24：
- A. もはや幼子ではなくなるために (14 節)、わたしたちはキリストの中へと成長し込む必要があります。これは、すべての事でわたしたちの中にキリストを増し加え、ついにわたしたちが完全に成長した人に到達することです。
  - B. わたしたちはみなすべての事で、すなわち、一つ一つの事で、大きな事でも小さな事でも、キリストの中へと成長し込む必要があります—— 15 節。
  - C. わたしたちがキリストの中へと成長し込んでいない事がまだ多くあります。それらの事において、わたしたちはキリストの中におらず、むしろキリストの外にいます。
  - D. わたしたちみなすべての事でキリストの中へと成長し込むとき、わたしたちはみなキリストの中で一になります。これが宇宙的な一人の新しい人です—— 24 節。
  - E. エペソ第 4 章 15 節は、わたしたちはかしらの中へと成長し込むと言っています。ここの「かしら」という言葉は示しているように、キリストが増し加わることによってわたしたちが命において成長することは、からだの肢体がかしらの下で成長することであるべきです。
  - F. すべての事でキリストの中へと成長し込むことは、宇宙的な一人の新しい人の実際的な出現のためです—— 24 節。
  - G. 命において成長することは、神の増し加わりによって成長することです。これは、真の成長が神の増加、神が加えられることであることを意味します——コロサイ 2:19。
  - H. エペソ第 4 章は、命の成長を通して新しい人が成就されることについて語っていません：
    - 1. エペソ第 2 章 15 節で、わたしたちは新しい人の有機的な創造を見ます。第 4 章 13 節から 16 節で、わたしたちは新しい人の機能に関する成就を見ます。
    - 2. 有機的に完全な新しい人は、正しく機能するために、命の成長を通して成就される必要があります—— 13, 15, 24 節：
      - a. 新しい人は正しい養いを受けることを通して成長すればするほど、ますます正常に機能します。
      - b. 15 節のキリストの中へと成長することは、24 節の新しい人を着ることと等しいです。

3. わたしたちは団体の新しい人の成長のために、十字架につけられ、復活し、昇天し、下って来たキリストを経験する必要があります。それは、すべてを含むキリストがわたしたちの中へと造り込まれて、わたしたちのすべてとなるためです。その時、有機的に完全な新しい人が、機能の上で完全になります—— 3:16-17 前半、4:13, 24。

**II. わたしたちは完全に成長した人に到達して神の定められた御旨を完成するために、イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ必要があります——エペソ 4:20-21 :**

**A. 一人の新しい人の生活は、イエスの生活と全く同じであるべきです—— 20-21 節 :**

1. 主イエスが地上で生活した方法は、今日、新しい人が生活すべき方法です——マタイ 11:28-30. ヨハネ 6:57. 4:34. 5:17, 19, 30. 6:38. 17:4。
2. わたしたちの生活の標準は、イエスにあるあの実際にしたがっているべきです。すなわち、主イエスが地上にいた時に生かし出した実際にしたがっているべきです——エペソ 4:20-21 :
  - a. 彼は神と一でした。そして彼は神の中で、神と共に、神のためにすべてのことを行なう生活をされました。
  - b. イエスは常に、神の義と聖に符合する生活をされました—— 24 節。
  - c. イエスの人の生活は、あの実際にしたがっていました。すなわち、神ご自身にしたがっており、義と聖に満ちていました。
3. わたしたちはキリストを学び、彼の中で教えられて、一種の実際の生活をする必要があります—— 20 節. II ヨハネ 1 節. ヨハネ 4:23-24。
4. 新しい人は団体の人として、イエスにあるあの実際にしたがって、一種の実際の生活をすべきです。それは、神を表現する生活です。
5. わたしたちは思いの霊にしたがって生きるなら (エペソ 4:23)、団体の新しい人の日常生活を持ちます。それは、イエスにあるあの実際に符合する生活です。

**B. イエスにあるあの実際にしたがって新しい人の生活をするために、わたしたちは古い人の団体生活を脱ぎ捨て、新しい人の団体生活を着なければなりません—— 22, 24 節 :**

1. 「以前の生活様式……古い人」を脱ぎ捨てることは、わたしたちの生活の方法を脱ぎ捨てることです—— 22 節。
2. 一人の新しい人としての召会生活を着ることは、神聖な霊と再生された人の霊のミングリングによって生み出された団体の実体を着ることです。この驚くべき実体には、わたしたちの霊とミングリングされた、すべてを含む、命を与える霊としてのキリストしかいません——コロサイ 3:10-11. I コリント 15:45 後半. 6:17。
3. 召会生活は、団体の新しい人の日常の生活行動です。すなわち、性質と様式において絶対に新しい生活行動です——エペソ 4:17-32。
4. 一人の新しい人は神ご自身にしたがっており、神の命と性質を持っているので、新しい人は神聖な命を持っているに違いありません。このような命は、団体のものであって、単独のものではありません—— 24 節。

**III. わたしたちは完全に成長した人に到達して神の定められた御旨を完成するために、思**

いの霊の中で新しくされる必要があります—— 23 節 :

- A. エペソ第 4 章 23 節によれば、古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着るかぎは、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることにあります :
1. わたしたちの再生された霊の中に住み、それとミングリングされている命を与える霊が、わたしたちの思いの中へと広がるとき、このミングリングされた霊はわたしたちの思いの霊となります。このミングリングされた霊によって、わたしたちの思いは新しくされます。
  2. 新しくする霊は、わたしたちの再生された霊とミングリングされて、一つのミングリングされた霊となり、わたしたちの思いの中へと広がって、わたしたちの全存在を新しくして、新しい人の肢体とならせます—— I コリント 6:17. エペソ 4:22, 24。
  3. 神の定められた御旨がこの時代で完成される唯一の可能性は、わたしたちがみな思いの霊の中で進んで新しくされることです—— 1:9. 3:11. 4:23。
- B. 思いが新しくされることは、一人の新しい人の完全な出現と実際的な実行のためです—— 22-24 節. コロサイ 3:10-11 :
1. わたしたちの思いの霊の中で新しくされることの中心点は、一人の新しい人です——エペソ 4:23-24。
  2. わたしたちの一生の中で、わたしたちの自国的で種族的な考え方が建て上げられてきましたが、一人の新しい人の出現のために、この考え方は新しくされなければなりません——コロサイ 3:10-11 :
    - a. わたしたちの天然的で自国的な考え方は、わたしたちの種族的で文化的な背景にしたがって教育され、建て上げられたものです。これは、新しい人の出現に対する最大の妨げです。
    - b. 一人の新しい人が完全に出現するようになるために、わたしたちは自分の国籍と文化にしたがって建て上げられてきた、わたしたちの思いの徹底的な更新を経験しなければなりません。
  3. 一人の新しい人が実際に実現され得る唯一の道は、わたしたちの思いが新しくされることによってです——ローマ 12:2. エペソ 4:23-24. コロサイ 3:10-11 :
    - a. わたしたちの生活の中で、わたしたちは実際的にまた日ごとに、思いの霊の中で新しくされる必要があります。そうでなければ、主が新しい人を得る道はありません。
    - b. わたしたちの祈りの中で、わたしたちは一人の新しい人の実行の中へと入ることを渴望する必要があります。こういうわけで、わたしたちは一人の新しい人のために、わたしたちの思いを新しくしてくださるよう、主に求める必要があるのです——ローマ 12:2。
    - c. わたしたちはその霊を飲むとき、わたしたちの思いの霊の中で新しくされ、この更新がわたしたちすべてを一人の新しい人にならせます—— I コリント 12:13. エペソ 4:23-24。
    - d. わたしたちの思いが新しくされる時、一人の新しい人は実際的に出現します

務めからの抜粋：

### 成長する

かしらであるキリストの中へと

愛の中で真理を固く保つことによって、わたしたちはすべての事の中でキリストの中へと成長し込みます（エペソ 4:15）。もはや幼子ではなくなるために（14 節）、わたしたちはキリストの中へと成長し込む必要があります。これは、すべての事でわたしたちの中にキリストを増し加え、ついにわたしたちが完全に成長した人に到達することです（13 節）。15 節で「かしら」という言葉は、キリストによるわたしたちの命の成長が、ここのからだの肢体がかしらの下で成長することであるべきことを示しています。

わたしたちが愛の中で真理を固く保つことによって、キリストの中で成長するという事実は、真理を固く保つことは偽りを語らないこと以上のものを含むことを証明します。あなたは、偽りではなく真理を語ることで、キリストの中へと成長することができると思いませんか？ これは、わたしたちをキリストの中へと成長させ得る方法ではありません。正直であり、偽りを言わない未信者は多くいます。それにもかかわらず、彼らは真理を語っても、キリストの中へと成長しません。

かしらの中へと成長し込むとは、わたしたちがキリストと召会だけを顧慮することを意味します。わたしたちはキリストと召会だけを顧慮することによって、すなわち、愛の中で真理を取り扱うことによってはじめて成長します。わたしたちは、倫理的な振る舞いに関する正直や誠実のようなもので成長するものではありません。

この節で成長の事柄は、すべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込むことと特に関係があります。13 節から 14 節はすべて、成長の必要を指摘しています。完全に成長した人になるうとするなら、わたしたちは成長する必要があります。同じように、もはやもてあそばれたり吹き回されたりする幼子でありたくないなら、やはり成長する必要があります。しかし、わたしたちはキリストの中へと成長し込むべきであり、自分自身の中へとキリスト以外の他の何かの中へと成長し込むべきではありません。

パウロははっきりと、わたしたちはかしらである方の中へと成長し込むと言っています。これは、わたしたちの成長はからだの中ででなければならないことを示します。かしらの中へと成長し込むために、わたしたちは必ずからだの中にいなければなりません。多くのクリスチャンは一見して、霊的に成長しているようです。しかしながら、彼らが成長と思っているものは、からだの中でではありません。わたしは何人かのクリスチャンが、この種類の成長をすればするほど、実はますます異議を唱えるようになったことを知っています。彼らは成長すればするほど、ますます批判的になるかのようです。あまり成長していない時、彼らは召会生活の中で問題ではありません。しかし成長していくと、彼らは問題になります。これは、彼らの成長が、かしらの中へと成長し込むのではないことによるのです。どの人の成長も、かしらの中への成長でない限り、それはからだの中の成長ではありません。

パウロが、救い主の中へと、主人の中へと、主の中へと成長し込むと言っていないことは、とても重要です。彼は特別に、わたしたちはかしらの中へと成長し込むと言っています。これはからだの中でのみ起こり得ます。もしからだの中にとどまっていなければ、あ

なたにはある種の成長があるとしても、それはかしらの中への成長ではないでしょう。

#### すべての事で

15 節でパウロは、わたしたちはすべての事で、かしらの中へと成長し込まなければならないと言います。ある面で、あなたはかしらの中へと成長し込みましたが、他の面で、あなたはおそらく成長していないでしょう。わたしの経験によれば、かしらであるキリストの中へと成長し込むことで最も困難な事柄は、わたしたちの語ることに於いてです。詩篇第 141 篇 3 節は言います、「エホバよ、わたしの口の前に見張りを置いて、わたしの唇の戸を守ってください」。わたしたちの語ることを制御することはとても困難であるので、わたしたちはこれを自分の祈りとすべきです。あなたが若くても年老いていても、兄弟でも姉妹でも、これはわたしたちすべてが、かしらであるキリストの中へと成長し込むのに絶対に必要とする領域です。

すべての事で、主の中へと成長し込むというこの事柄を主にもたらすなら、多くの小さな事で、まだかしらの中へと成長し込んでいないことを見るでしょう。わたしたちはまだ何と、キリストの中へと成長し込む必要があることでしょうか！ この成長の必要がわたしたちの心に触れて、わたしたちを新たに主に向かわせますように。(エペソ人への手紙ライフスタディ、第 45 編)

#### イエスにある実際

パウロはエペソ人への手紙第 4 章 20 節でキリストを学ぶことについて語り、21 節で「彼の中で、イエスにあるあの実際にしたがって教えられている」と言います。J・N・ダービーは第 4 章 21 節の注解で、そのギリシャ語には「イエス」の前に強調の冠詞があると指摘しています。彼は次に、これは「『イエス』個人が際立たせられている」ことを示すと言っています。イエスの中にあるあの実際とは、四福音書で記録されているような、イエスの生活の真の状態であり、真理、実際に満ちた生活です。イエスは、常に神の中で、神と共に、神のためにすべてのことを行なう生活をされました。神が彼の生活の中におられ、彼は神と一でした。これがイエスの中にあるあの実際です。イエスは常に、神の義と聖と符合する生活をされました。

24 節でパウロは、新しい人はあの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造されたと言います。この実際は、疑いもなく、イエスにあるあの実際です。わたしたちの生活の標準は、律法や社会の標準にしたがうものであってはなりません。それは、イエスにあるあの実際にしたがってなければなりません。すなわち、イエスが地上におられた時、彼によって生かし出された実際です。ですから、イエスの生活は、今日、召会におけるわたしたちの生活でなければなりません。言い換えれば、新しい人の生活は、イエスの生活と全く同じでなければなりません。主イエスが地上で生活した方法は、今日、新しい人が生活すべき方法です。

そのように生きようとするなら、わたしたちは善や悪によって論じてはなりません。むしろ、わたしたちが日常生活のさまざまな面を、イエスの中にあるあの実際にしたがって考えるべきです。例えば、わたしたちが買い物をしに行こうとしているなら、主イエスが買い物に行っておられるかどうかを尋ねるべきです。一人の新しい人の生活は、イエスの

実際の生活でなければなりません。わたしたちがみな天的で、神聖で、義で、聖で、栄光である方法で生きるなら、召会の中ですばらしい団体生活を持つでしょう。これが新しい人の団体の生活です。

### 霊がわたしたちの存在を指図する

新しい人を着る方法は、その霊とミングリングされているわたしたちの霊（その中に神、神の住まい、新しい人が見いだされる）が、わたしたちの思いの霊となることです。わたしたちの思いは、わたしたちの全存在を支配し、指図します。霊がわたしたちの思いの霊となるとは、霊がわたしたちの思いを指図し、制御し、支配し、占有することを意味します。わたしたちの思いが霊の思いであるのではなく、わたしたちの霊が思いの霊であるべきです。もし思いがわたしたちの霊の思いであるなら、それはわたしたちの思いが霊を支配し、制御し、指図することを意味します。しかし、わたしたちの霊が思いの霊であるなら、それはわたしたちの霊が思いを支配し、制御し、指図することを意味します。霊がわたしたちの思いを指図する時、それはわたしたちの全存在を支配します。こうであれば、わたしたちは霊の制御の下にあり、霊の中で、神、神の住まい、新しい人が見いだされます。わたしたちが新しくされるのは、このわたしたちの思いの霊の中です。この霊によって、わたしたちは新しい人を着ます。

わたしたちがどれほど新しい人を着たかは、どれほどわたしたちの霊が、わたしたちの全存在を指図するかにかかっています。わたしたちの霊がわたしたちを支配し、指図する時、意見や規定に余地はありません。わたしたちの方法が入る余地はありません。なぜならわたしたちの全存在が、わたしたちの霊によって支配され、制御され、統治され、指図されているからです。

### 漸進的な過程

新しい人を着ることは、一度で永遠に起こることではありません。その反対に、それは一生の事柄、わたしたちのクリスチャン生活において継続する漸進的な過程です。新しい人は、神聖な本質としてのキリストをもってすでに創造されました。わたしたちが再生された時、この新しい人はわたしたちの霊の中に入れられました。今や日ごとにわたしたちは、霊にわたしたちの全存在を制御させ、わたしたちの思いを新しくさせることによって、この新しい人を着る必要があります。わたしたちの存在の部分が新しくされるたびに、わたしたちは新しい人を少しずつ多く着ます。ですから、わたしたちの思いを制御する霊を通して新しくされればされるほど、わたしたちはますます多く新しい人を着ます。最終的に、新しい人を着るこの過程が完了します。（エペソ人への手紙ライフスタディ、第 24 編）

### 一人の新しい人の出現のための思いの更新

聖書のあらゆる真理には二つの面があります。一人の新しい人についても同じです。この一人の新しい人に関する第一の面は、キリストが肉体の中で十字架上の死を通して、この一人の新しい人の創造を完成したことです。エペソ人への手紙第 2 章 15 節は、この一人の新しい人がすでに創造されているとわたしたちに告げる全聖書の中でも非常に強力な

節です。「数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり」。神の目には、一人の新しい人は二千年前に十字架上で、キリストの中でユダヤ人と異邦人の二つの民から創造されたのです。エペソ人への手紙第 2 章 15 節は、この一人の新しい人のほとんどすべての面を扱っています、しかしこの節はなお一つの重要点を書き落としています。この重要点とは一人の新しい人の出現です。一人の新しい人の創造は十字架上で完成されました、しかしペンテコステの前には、この一人の新しい人はまだ出現するに至っていませんでした。一人の新しい人の出現はペンテコステの日に始まりました。しかしそれは全体的ではありませんでした。それは一人の新しい人の出現の始まりであったのです。今日でさえ新しい人の出現は依然として完成へと進行しつつあるのです。

### その霊の中のバプテスマ

一人の新しい人の出現のために必要とされる第一段階は、その霊の中のバプテスマです。ペンテコステの日（使徒 2:1-4）とコルネリオの家で（使徒 10:34-48）、からだのかしらとしてのキリストは、すべての肢体を一つ霊の中で一つからだの中へとバプテスマされました。コリント人への第一の手紙第 12 章 13 節は、わたしたちがみな一つからだの中へとバプテスマされたと言っています。この節はユダヤ人、ギリシャ人、奴隷、自由人に言及しています。これらは社会における異なる人種、また異なる階級です。すべての異なる階級を伴ったすべての異なる人種と民とがその霊の中に入れられました、みな一つからだとなるためです。

### 一つ霊を飲む

コリント人への第一の手紙第 12 章 13 節はまた、わたしたちはみな一つ霊を飲むようにされたと言っています。その霊の中のバプテスマは一度限りで達成されました。しかし一つ霊を日ごとに飲むことは依然として進行中です。わたしたちは来る日も来る日も、毎時毎時一つ霊を飲む必要があります。主がその第一段階を達成されたことをわたしたちは感謝すべきです。今やわたしたちはその霊を飲むことによって第二段階を遂行しなければなりません。

### わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによって新しい人を着る

エペソ人への手紙第 2 章 15 節は、新しい人は十字架上で創造されたことを告げますが、エペソ人への手紙第 4 章 22 節は、わたしたちが古い人を脱ぎ捨てなければならないことを告げます。エペソ人への手紙の新しい人は団体的ですから、同じ原則で、古い人も一人の団体の人であるに違いありません。わたしたちは古い人を脱ぎ捨てる必要がありますが、それは教えられたり、正されたり、訓練されたり、教育されたり、指示されたりすることによってではなく、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによってです（4:23）。わたしたちがわたしたちの思いの霊の中で新しくされつつあるとき、わたしたちは古い人を脱ぎ捨てるだけでなく、また「あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された」新しい人を着るのです（4:24）。一人の新しい人はキリストの中で創造されました、しか

しあなたの上には新しい人の何ものも出現しないかもしれません。ですから、わたしたちはすでにキリストの中で創造されている新しい人を着なければなりません。わたしたちが新しい人を着る方法はわたしたちの思いの霊の中で新しくされることによってです。

### 思いが新しくされるためにその霊を飲むことによって霊の中で満たされる

エペソ人への手紙第 5 章 18 節はわたしたちに、霊の中で満たされるようにと告げています。酒に酔うことは肉体の中で満たされることです。ところが霊（神の霊でなく、わたしたちの再生された霊）の中で満たされるというのは、キリストで満たされて（エペソ 1:23）、神の豊満へと至ることです（3:19）。主はまずわたしたちの霊からわたしたちの思いへと拡大し、それからわたしたちの感情と意志へと拡大したいのです。内住の神の霊とミングリングされたわたしたちの再生された霊は、わたしたちの思いの中へと広がります。わたしたちの思いのこのミングリングされた霊の中で、わたしたちは新しくされます。その霊を飲むことは彼に祈り、御名を呼び求め、彼と交わることによってわたしたち自身を主に開くことです。神の霊は今日飲む水です。わたしたちがその霊を飲めば飲むほど、ますます彼はわたしたちを彼自身で満たし、ますますわたしたちの思いに浸透し、造り変えるためにそれを新しくします。

### 一人の新しい人のために思いを新しくする

わたしは若い信者であったとき、わたしたちの思いの霊の中で新しくされるとは、わたしたちのクリスチャンの振る舞いのためであると考えました。わたしたちは神の霊によって満たされ、占有され、支配されることによって、わたしたちの思いが新しくされることができます。わたしたちは祈り、主と交わり、彼の御名を呼び求め、わたしたちの罪の徹底的な告白をすることさえしなければなりません。そうすれば、わたしたちは造り変えられ、わたしたちの振る舞いは変えられるでしょう。これはそうですが、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることの中心点は、一人の新しい人のためです。

コロサイ人への手紙第 3 章 10 節から 11 節は告げています。わたしたちは「新しい人を着る」必要がある、「その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです」。新しい人の中にはギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人の余地がありません。更新は単にわたしたちの振る舞いのためではありません。更新はさらにわたしたちの人種的な規定を除くことであり、天然の人を除くことです。新しい人の中には天然の人がいないだけでなく、いかなる天然の人に対する可能性も、余地もないのです。新しい人の中にはキリストのための余地しかないのです。新しい人はキリストです。新しい人ではキリストがすべてであり、すべての中におられます。新しい人の中にはユダヤ人やギリシャ人はあり得ません。そこにはいかなる中国人も、いかなる日本人もあり得ません。新しい人の中にはいかなる白人も、いかなる黒人もあり得ません。わたしたちはみな一人の新しい人の出現のために、新しくされる必要があります。

コロサイ人への手紙第 3 章 10 節は新しい人の創造と更新です。創造は十字架上で完成



されましたが、更新は前進する必要があります。わたしたちは新しい人の出現のために、わたしたちの思いが新しくされる必要があります。神は新しい人を創造しましたが、新しい人はわたしたちの新しくされていない思いのゆえに、完全に出現するに至っていません。わたしたちの思いが問題です。神の主権によって、わたしは多くの国々にいて、多くの異なる規定、多くの異なる生活の仕方を見てきました。人々が異なる種族や文化から救われることは、彼らの生活の仕方について新しくされることよりはるかに容易です。これらの異なる規定はいつもわたしたちに問題を作り出します。それは、わたしたちの思いがさらに新しくされる必要があるからです。

ローマ人への手紙第 12 章 2 節は、この時代にかたどられてはいけないとわたしたちに勧めます。これが意味するのは、わたしたちが服装や生活の仕方においてこの世的であるべきでないというだけではありません。この時代にかたどられないとは、それにもまして、わたしたちが分裂の道に倣うべきではないことを意味します。ローマ人への手紙第 12 章 2 節とエペソ人への手紙第 4 章 23 節は更新の事柄についてであり、いずれの節もからだの生活のためです。ローマ人への手紙第 12 章 2 節は言います、「思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか……あなたがたがわきまえるようになるためです」。あなたがローマ人への手紙第 12 章の文脈を見入るなら、神のみこころとはからだを持つことであるのを見ることができます。思いが新しくされることはからだの生活のためです。からだ生活の中の問題は、さまざまな規定と関係があります。

わたしたちは、わたしたちの天然の思いの中で新しくされる必要があります。それは、わたしたちの思いがその霊で満たされ、浸透される必要があることを意味します。その霊はわたしたちの知性のあらゆる繊維組織に浸透する必要があります。

わたしたちが思いの中で新しくされる必要があるのは、ただわたしたちの個人的な、倫理的振る舞いのためだけでなく、一人の新しい人のためです。今日多くのクリスチャンがまだ自分の天然的で、宗教的で、個人的な観念を保持しているのは、その霊に彼らの思いの中へと拡大していただかないからです。彼らはその霊に彼らの思いを支配していただきません。わたしたちはみな自分自身を主に開いて祈る必要があります、「主よ、わたしはここにいます。わたしはわたしの思いを完全にあなたに開いていたいのです。入って来てわたしを満たしてください。わたしの内なる全存在に浸透し、飽和し、所有してください」。わたしたちがそのように主に祈るなら、その霊はわたしたちの思いに浸透する道を得られると、わたしは信じます。その霊がわたしたちの思いに浸透するとき、規定は終わります。わたしたちは一人の新しい人だけを顧慮します。

一人の新しい人が実際に実現され得る唯一の道は、わたしたちの思いが新しくされることによってです。一人の新しい人が実現され得るのは、わたしたちが矯正されたり教えられたりすることによってではなく、神の霊がわたしたちの知性に浸透することによってです。神の要素がわたしたちの知性の中へと入るとき、わたしたちは、彼が考えるように考えるでしょう。わたしたちは、彼が見るように物事を見るでしょう。わたしたちは、彼が考えるように状況を考えるでしょう。その時、新しい人は出現するに至ります。そこには何の人種も、社会的階級も、宗教的な違いもないでしょう。キリストが真にすべてであり、すべての中におられます。これがこの地上における主の行動の最新のビジョンであると、わたしは信じます。主は行動して一人の新しい人を得ようとしておられます。

### 新しい人を実際に出現させる主の行動

主はマタイによる福音書第 16 章 18 節で、彼の召会を建てると預言されました。主が預言したものは何であれ、成就されなければなりません。新しい人の実際的な出現がなければ、召会の建造はむなしい話であるでしょう。召会の建造は新しい人の出現にかかっています。新しい人が出現するに至るなら、疑いもなく、建造された召会がここにあるのです。分裂の現状にもかかわらず、主は新しい人を得ようとしておられます。主がこの現在の時代に行なっているあらゆることは、一人の新しい人の実際的な出現をもたらすことです。わたしたちの天然的で、宗教的な観念を下ろすために、わたしたちの思いはわたしたちのミングリングされた霊によって浸透され、飽和され、所有され、支配される必要があります。そうすればわたしたちの観念は完全に変革され、もはやいかなる規定も持たないでしょう。新しい人はそのとき出現するに至ります。これが今日の地上における主の行動です。  
(一人の新しい人、第 6 章)